

平成30年度 第56回群馬県文学賞受賞者

「群馬県文学賞」は、本県における文学活動の振興を図るため、1年間（平成29年7月1日から平成30年6月30日）における文学各部門の創作活動のうち、特に優れたものを選奨するものです。

短歌部門 善如寺裕子（高崎市）
「逝きてなほ」30首



俳句部門 斎藤一雄（伊勢崎市）
「盆供の母へ」30句



詩部門 佐伯 圭（伊勢崎市）
「冬の魔法」他4編



評論部門 相澤貞順（前橋市）
「岩宿遺跡の発見者 人間“相澤忠洋”を語る」



児童文学部門 須田圭子（伊勢崎市）
「おばあちゃん、春が来たよ」



小説部門、随筆部門は受賞作品がありません。